

上毛

4

こうげ町広報 April 2019
VOL.162

CONTENTS

- 町の掲示板 2
- 町の話 14
- カルチャー 17
- 町の情報ひろば 18
- 素敵人 20

<http://www.town.koge.lg.jp>



町の花(春) 桜

町の花(秋) コスモス

町の木 梅

編集発行／上毛町役場企画情報課
印刷／築上印刷有限会社
〒871-0092
福岡県築上郡上毛町大字垂水1-32-1
TEL 0979(72)3111
FAX 0979(72)4664

人の動き

2月28日現在

- 世帯数 3,196 (±0)
- 男 性 3,638 (-6)
- 女 性 3,991 (-10)
- 人 口 7,629 (-16)
- 65歳以上 2,649 (+3) 34.7%
- 75歳以上 1,408 (+7) 18.5%

- うち外国人
- 人 口 65 (-3)
 - 男 性 41 (-1)
 - 女 性 24 (-2)
 - 世帯数 59 (-3) (うち混合世帯4)

参考

- 平成17年10月11日
合併時
- 人 口 8,499
 - 世帯数 3,057

ごみの量

2月28日現在

- 可燃ごみ 109.84t (-14.81t)
- カン・ペットボトル 2.00t (-0.86t)
- びん 3.82t (-1.10t)
- 古紙他 7.55t (-4.19t)
- 可燃粗大 3.02t (+0.51t)
- 不燃 6.74t (+1.01t)
- プラスチック製容器包装 1.51t (-0.08t)
- 紙パック、白色トレイ 0.05t (±0t)

※()内は前月増減

環境対応型植物油インキ
を使用しております。

こうげ素敵人



上毛中学校3年
小下 真理子さん
(東上)

私は中学校に入ってたくさんのことを学びました。決して楽しいことばかりではありませんでしたが、今思うと全部自分の試練だったと思います。私たちが無事に卒業できたのは、三年間優しく、時に厳しく指導して下さった先生方のおかげです。大変なときも、「がんばれ」といつも励まし支えてくださいました。そして、どんなときでも私を信じ、応援してくれた両親にも本当に感謝しています。

三年間ずっと一緒に過ごした校舎や友だち、先生方と離れるのはとても寂しいですが、この大切な思い出を胸に高校生活を送っていきたいと思います。高校生活では、中学校生活で培ったことを活かしていきたいです。進路はみんな様々で、私も四月から進学のために親元を離れます。新しい環境でいろいろな困難が待ち受けていると思いますが、一つ一つ乗り越えていきたいです。そして上毛中学校出身という誇りを持って高校に行きます。



唐原小学校6年
山田 醇兵さん
(下唐原)

ぼくの将来の夢は、医師になることです。六年生になって、児童会長になりました。その中で人の役に立つことのやりがいを感じました。学校のリーダーとして行事の企画、運営をしました。練習で失敗すること多く、かげで努力しました。そして行事を成功させたとき、多くの人の笑顔を見ました。その笑顔がうれしくて人の役に立つ仕事は

何かなと考えた時、医師になって困っている人を笑顔にさせたいと強く思いました。ぼくは、多くの人の命を助けることができるようにしたいです。

夢に向かうためまず中学校での生活が重要だと思います。自分にあまえることなく勉強などに取り組み続けていきたいです。



西吉富小学校6年
瀬口 乃々夏さん
(緒方)

私の将来の夢は、小さな子どもを笑顔にできる保育士です。毎日、子どもたちが安心して暮らすことができるようにしたいです。

テレビで保育士がいる国とない国の子どもたちの生活を比べる番組を見ました。保育士がいない国の子どもたちのお母さんは、大事な子どもをあずけることができないために安心して仕事に行けず大変そうでした。お母さんにとって保育園は、必要な場所だと感じ、私もそんな大切な仕事がしたいと思いました。

そして、もう一つ保育士を目指すきっかけになったのは、私が子どもを好きだということです。自分がお世話になった保育園の先生が、毎日楽しくやりがいをもって仕事に取り組んでいるように見えたことです。大好きな子どもたちが笑顔で過ごせるために、保育士として自分にできることをしたいと思います。

新しい夢に

向かって

この春、町内の小・中学校を卒業した5人をご紹介します。



友枝小学校6年
竹田 朱里さん
(東下)

私の将来の夢は、看護師になることです。わけは、お母さんが看護師をしているからです。小さいころから病院に行って、お母さんが働く姿を近くで見てきて、カッコいいなと思いました。そして、いっしょに働いてみたいと思いました。

四年生のころから、お母さんは毎晩部屋にこもって看護大学専門学校卒業のため、医療や看護の勉強をするようになりました。私もしたいといけなと思うと、夢をあきらめなくなりました。でも、お母さんが「看護師は、人を助けるいい仕事」と言っていたことを思い出して、やっぱりあきらめたくないと思いました。私は、これから夢に向かって看護の勉強をがんばりたいです。



南吉富小学校6年
小野 颯万さん
(中村)

「寒い中よくがんばっているね。」

これは、赤い羽根共同募金の街頭募金活動をしているとき、地域の方が言ってくださった思い出の言葉です。僕はこの言葉を聞いたとき、僕のような子どもでも、社会のためにできることがあるのだということに気が付きました。また、それを地域の方に認めてもらい、この活動をして本当に

良かったと思いました。そして、この活動に協力してくださった社会福祉協議会の方の姿が、とてもカッコいいなと思いました。社会福祉協議会に就職したいという思いが強くなりました。もっと笑顔が増え、挨拶が響く上毛町になるように、そしてこの町に貢献できる人になれるように、この夢を叶えたいです。

表紙の写真は唐原小学校卒業式です